9月議会報告

学校給食費は、「すえ置き」すべきでは !!

給食費無償化の中、奥州市は引き上げするのか？

9月1日から9月29日まで、9月定例会（決算議会）が開かれました。日本共産党市議団は、公約・住民要求実現をめざし全員が一般質問するなどして、倉成淳市長の市政運営の考え方について質しました。なかでも6月30日、小中学校給食費の引き上げ方針が示されたことを受け、物価高騰のおり、少子化や子育て支援策に逆行する給食費の引き上げは見送るべきだとして取り組みました。

市長と教育長に対して、「学校給食費の値上げは行わないこと」を申し入れる市議団（9月28日）

「義務教育は、これを無償とする。」（日本国憲法第26条第2項）と定められております。岩手県内では金ヶ崎町をはじめ10市町村で給食費無償化が実施されています。

【教育委員会が行ったアンケート回答から】

●二者択一は非常に困る。どちらも選択したくない。学校給食費の無償化を奥州市で検討していないのか気になる。

●物価高騰の中、子ども達のための給食を維持するための値上げは仕方ないが、収入はかわらない。よく検討を。

●学校給食費は無料にすべき。奥州市は各家庭の負担が多すぎる。

全額無償化している市町村（10市町村）

宮古市、陸前高田市、金ヶ崎町、葛巻町、山田町、洋野町、軽米町、田野畑村、普代村、九戸村（いずれも令和5年度）

「学校給食費の無償化を求める意見書」採択

定例会最終日に、「学校給食費の無償化を求める意見書」（提案者：千葉敦議員:教育厚生常任委員長）が提案され、全会一致で採択し国に送付されました。

学校給食費の無償化については、以前から日本共産党市議団が取り上げてきました。今定例会でも、佐藤美雪議員が一般質問で取り上げました。

意見書では、義務教育は無償であり、食育として行われる学校給食も無償化すべきとしています。子育て世代は新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰のあおりを受け、生活がますます厳しくなっていると指摘しています。

意見書案を提案する千葉敦議員

一方で、岩手県内では、金ケ崎町をはじめ10市町村が給食費無償化を実施し支援をしています。財政状況の違いにより、自治体間で義務教育での費用負担に差が出るのは問題であり、国によって無償化を実現すべきであるとしました。

一般質問

早く 新しい みんなの病院を！

瀬川貞清 議員

瀬川貞清議員は、市が「地域医療奥州市モデル」で示した「新医療センター」の検討が、どこまで進んでいるか質しました。

検討の場の懇話会を立ち上げた

倉成淳市長は、検討するにあたっては、「専門家や市民から意見を聞くこととしています。専門家からは、『地域医療懇話会』で意見を聞き、市民目線、利用者目線での意見聴取や議論をする場の『新医療センター検討懇話会』を設置し、委員には社会福祉協議会や民生児童委員連合協議会などからの推薦のほか、公募の委員で構成し」、「10月初めに開催を予定している」ことを明らかにしました。

市民の声を反映した計画にすべき

瀬川貞清議員は、過去の計画策定で、パブリックコメントに意見を寄せても採用されず「アリバイ的だ」という批判があるとして改善を求めました。

市民議論の成果を充分反映させたい

倉成淳市長は、広く市民の意見を聞く機会を設け、市民議論の成果を充分反映させたいと応じました。

周産期医療の計画を盛り込むべき

瀬川貞清議員は、市の計画に周産期医療の体制整備が盛り込まれていないことについて、市民要望が強いことから、計画に盛り込むべきだとして見解を質しました。

すぐの実現は難しい状況

倉成淳市長は、市内で分娩できるようにするには、複数の医師や助産師等のチーム体制が必要であり、すぐの実現は難しい状況だとの考えを示しました。

タクシー助成や宿泊助成などで、妊婦検診を地元で受けられるよう環境を整えていき、将来（整備）への布石となる計画にしていきたいと述べるにとどまりました。

今学校給食費の引き上げはすべきでない

佐藤美雪 議員

佐藤美雪議員は、物価高騰を理由に来年度から学校給食費の引き上げの実施を検討している教育委員会の方針について質しました。

値上げの根拠とされたのが、6月に行われた小中学生の保護者を対象にした給食に関するアンケートにおいて、「学校給食の質と回数を保つためなら値上げもやむを得ない」という回答が約8割あったことでした。

佐藤議員は、「アンケートは、『値上げ』か『給食回数を減らす』かの二者択一であった。これは、保護者の本当の思いが反映されていない。追い詰めるものだ」として詰め寄りました。

二者択一だが、保護者の意識を知りたかった・・・

高橋勝教育長は、アンケートの設問について、「学校給食運営協議会において決定したもの。保護者の意識を図るために行った。ご理解いただきたい」と釈明しました。

子育て世代に寄り添って！

佐藤美雪議員は、「アンケートには保護者の思いが書かれている。『物価高騰だが、給与は上がっていない。家計もひっ迫しているので、市にはしっかり考えてほしい』との声がある。教育委員会は市当局としっかり議論を」と迫りました。

9月議会の報告と日本共産党奥州市議団の活動を紹介します。

日本共産党奥州市議団

事務局次長 **佐藤美雪**議員

事務局長 **瀬川貞清**議員

幹事長 **千葉敦**議員

議員副団長 **菅原明**議員

議員団長 **今野裕文**議員

市政報告

2023年11月号
奥州市議会日本共産党議員団
《連絡先》
奥州市役所日本共産党議員団控室
水沢大手町1－1　☎24－2111
日本共産党奥州市委員会
水沢大手町三丁目59 ☎24－2021 fax24－2049